

# 食道扁平上皮癌リンパ節転移節外浸潤

## についての臨床病理組織学的検討

### 1. 研究の対象

2007年1月より2013年12月までに当院で胸部食道扁平上皮がんに対し、食道切除再建の手術を受けた方。

### 2. 研究目的・方法

食道がんの病理組織像は、予後を予測する因子として非常に重要な位置づけにあります。しかしながら根治的な手術術後の予後予測因子としては、腫瘍の大きさ、手術の根治度、リンパ節転移の有無などが報告されているものの、リンパ節が転移した場合の周囲へのがんの浸潤による予後への影響については、報告はまだ少なく、まだ不明な点が残っています。本研究によって食道がんがリンパ節転移をし、リンパ節外へ浸潤した場合の予後への影響明らかになれば、食道がんにおける今後の診断や治療開発に大きく貢献すると考えられます。

今回の研究では手術で摘出された食道がん症例の手術組織検体とともに郭清されたリンパ節の病理組織標本を用いて検討し、リンパ節転移節外浸潤に伴う臨床病理学的特徴を明らかにする事を目的としています。

電子カルテより、対象期間内に食道扁平上皮がんに対して食道切除再建を行った患者さん、またその内術後に再発を認めた患者さんに関する臨床データを集計します。また、手術組織検体の原発巣とリンパ節の病理組織学的診断時に作成されたプレパラートを再度鏡検し、予後との関係を遡及的に検討します。

研究実施期間：3年間

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療録および電子カルテから患者背景、臨床経過、病理組織学的所見、病理プレパラート 等

試料：無し

### 4. 試料・情報の公表

学術集会および論文にて解析結果を発表します。

## 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 食道外科

岡田尚也

FAX 04-7131-9960 / TEL 04-7133-1111 (内線 91564)

E-mail : naoyokad@east.ncc.go.jp

研究責任者：

国立がん研究センター東病院 臨床開発センター 臨床腫瘍病理分野

藤井 誠志

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

TEL : 04-7134-6855 / FAX : 04-7134-6865

E-mail : sfujii@east.ncc.go.jp